

KAMOみーる KAWO首ーる

~NEWS Letter~ 24号 2012.6



.. TOPICS ..

- * 「意識調査」結果
- * 出前講義@岐山高校
- * 清島教授「吉岡弥生賞」受賞

「平成23年度岐阜大学男女共同参画に関する意識調査」の結果

「平成23年度岐阜大学男女共同参画に関する意識調査」は、男女共同参画推進室が行っている全教職員を対象とした第2回意識調査です。本調査は、学内構成員の男女共同参画に関する意識と状況を定期的に把握することを目的としています。

ここでは、調査概要といくつかの項目についての結果をお知らせします。全ての質問項目の結果については、別途『平成23年度 男女共同参画に関する意識調査報告書』を発行しますので、どうぞそちらでご確認ください。

■ 調査概要 ■

対象者: 岐阜大学教職員(2,740人)
実施時期: 2012年2月
回収有効票: 1,640票
回収率: 59.9%

回答者の半数以上は女性です。年齢別にみると、50代、60代が少ないものの、20代、30代、40代をほぼ均等に含んでいます。医療系職員・医員、事務系・技術系職員、教育職員の順で多い回答を得ています。医療系職員・医員には女性の看護師が多く含まれており、回答者の性別構成において女性が多数を占める要因となっています(図1、図2、図3)。

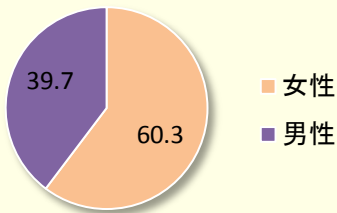


図1 回答者の性別

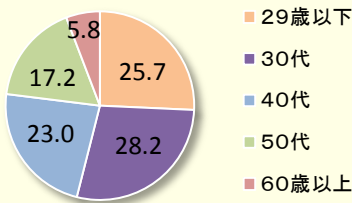


図2 回答者の年齢

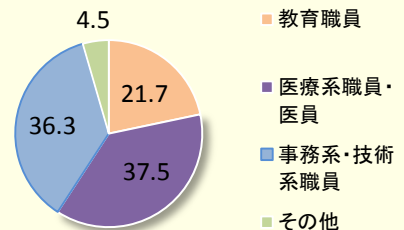


図3 回答者の職種

Q: 岐阜大学では平成22年10月に、「岐阜大学男女共同参画宣言」および「岐阜大学男女共同参画行動計画」を策定しました。そのことについて知っていますか?

およそ5割の人が「知っている」と答えています(図4)。昨年行った第1回調査では、約4割の認知でした。この1年で「岐阜大学男女共同参画宣言」および「岐阜大学男女共同参画行動計画」の策定については、認知度の上昇が認められます。「岐阜大学男女共同参画宣言」および「岐阜大学男女共同参画行動計画」は、男女共同参画推進室HPに掲載されています。どうぞこの機会にご覧の上、実践活動にご参加ください。

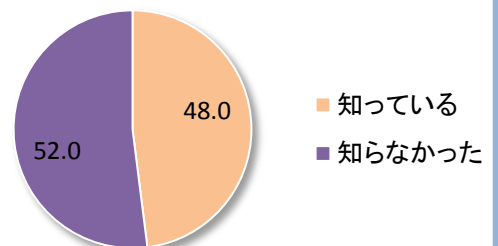


図4 「岐阜大学男女共同参画宣言」および「岐阜大学 男女共同参画行動計画」の認知

**Q：岐阜大学で男女共同参画を推進することは、どのようなプラス効果があると思いますか？
最も大きな効果が期待されることをお選びください。**

上位3つの項目は、昨年度も同じ順番で選択されていました。そのうち、「男女双方にとって働きやすい職場となる」（昨年度：33.7%）は今年度の調査によって選択される割合が増加しています。また、「多様な人材が活躍できる組織となることで大学が活性化する」と合計すると、上位2項目で約7割を占めています。この結果からは、男女共同参画の推進は特定の性別や年齢に関わらないプラスの効果があると、多くの構成員が考えていることがわかります。

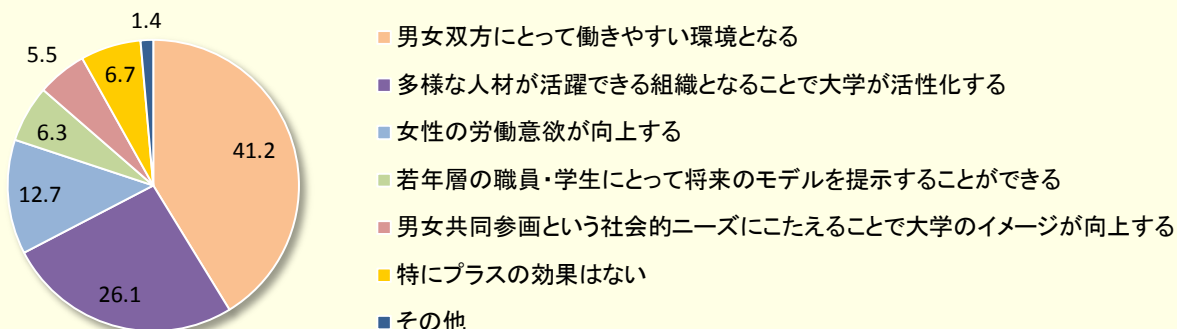


図5 男女共同参画の推進について最も期待できる効果

**Q：「女性研究者支援モデル育成」事業の中では以下のような取組を行うこととしています。
女性研究者育成・支援に効果的であると思うものを3つまで選んでください。**

効果的であると思われる取組は、「学内託児施設の充実」、「研究支援者の配置」、「テレワークシステムの導入」の順で高い割合となっています(図6)。これら3つの項目は、昨年度の調査においても同じ順番で選択されており、多くの構成員が期待する取組であることがわかります。昨年の調査以降、テレワークシステムの導入や休憩室の設置について、着実に整備が進められてきました。今年度もアンケート結果を参考にしながら、各取組に関わる効果的な進め方について検討を進めてゆきます。

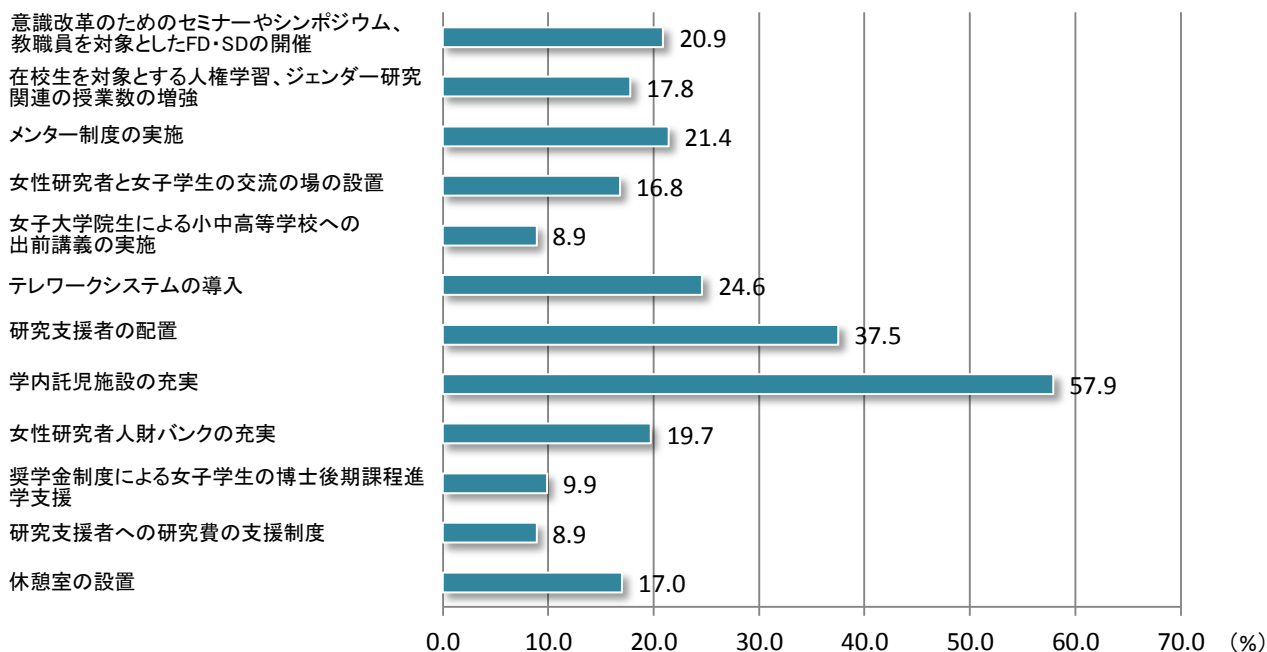


図6 女性研究者育成・支援に効果的な取組

平成24年5月21日及び28日の2日間、岐阜県立岐山高等学校理数科の2年生80名を対象に出前講義を実施しました。



「ツシマヤマネコを守ろう！～日本の絶滅危惧種の繁殖研究～」

連合農学研究科博士課程2年 吉崎友紀さん

講義の前半では、生息数が減少し絶滅危惧種に指定されているツシマヤマネコの現状と保全の必要性や方法について紹介したのち、保全への応用を目指し行っている繁殖生理に関する研究について、実際のデータを交えながら説明しました。後半では、人との出会いによって視野が広がった経験を紹介し、最後に、「好きなことを見つけよう。視野を広く持って。」と生徒たちにメッセージを送りました。

講義を終えて

決められた時間内で、専門知識を持たない高校生に対し、いかに内容を絞って的確に説明するか、ということに注意を払い、より聞く側の立場にたって内容を考えることができました。さらには私自身のことも振り返ることができ、良い経験となりました。

問題点としては、きちんと講義をしなくてはという思いから硬くなりがちだったことです。もう少し相手にもリラックスして聞いてもらえるような話し方や表現方法などを身に付けることが、今後の課題だと感じました。



「がんの新しい治療法を探る！～お母さん研究者の歩み～」

医学系研究科・医学部 産科婦人科学分野 鈴木紀子さん

講義の前半では、がんの発病メカニズムやより効果的な治療法の開発に取り組む背景を説明した後、新規化合物のがんに対する限定的な効果を検証するための実験方法を紹介しました。後半では、研究と家庭の両立に悩みながら、自分に合ったバランスを模索してきた経験を話し、「10人いたら10通りの人生。自分の心の声を大切にしながら、自分の道を作っていく。」と伝えました。



講義を終えて

初めての参加でしたが、大変いい経験になりました。一週間を隔てて二回同じ講義をする機会をいただけたので、一回目の反省点等を二回目に活かして改善できました。もう少し生徒の皆さんと関わる時間が持てたらいいと思いました。

もともと教育分野にも興味がありましたので、こういう形で関わることができて嬉しく思いました。やり終えてみて、もう一つの夢であった、科学をわかりやすく伝えるという仕事もやはり好きだと実感しました。また機会があれば参加させていただきたいです。



清島眞理子教授(医学系研究科) 吉岡弥生賞を受賞

平成24年5月20日、岐阜市で第57回日本女医会定時総会が開催され、清島眞理子教授（皮膚病態学）が吉岡弥生賞を受賞されました。また、午後からは、清島教授が「乾癬治療」について講演を行い、160名が聴講しました。



吉岡弥生賞

- 吉岡弥生（1871-1959）：東京女医学校・東京女子医学専門学校・東京女子医科大学創立者。
- 1967年から日本女医会により、医学に貢献した会員や社会に貢献した会員に対し授与している。

★★★★ 受賞のことば ★★★★★

この度、吉岡弥生賞受賞を「カモミール」で取り上げていただき光栄に存じます。この賞は女性の医学教育の礎を築かれた吉岡弥生先生の功績を讃え、医学あるいは社会に貢献した女性医師に贈られるものです。本賞の名に恥じないよう、臨床医、研究者、医学教育者として後進の育成に力を尽くしたいと思います。

私は1980年に岐阜大学医学部を卒業し、育児をしながら診療、研究に携わり、1986年に医学博士号を取得することができました。その当時女性医師が肩身の狭い思いをしながら診療・研究されている講座もありましたが、私の所属する医学部皮膚科学講座には尊敬すべき先輩女性医師の先生方が多数おられました。その後、留学、一般病院勤務を経て2009年6月岐阜大学に戻り、現在は教育・診療とともに、乾癬やアトピー性皮膚炎を中心に若手医師、研究者の指導に全力を尽くしています。すばらしいロールモデルに恵まれたことは私にとって大変な幸せであり、諸先生方に心より感謝すると共に、良き伝統を今後も受け継いでいけることを願っています。吉岡先生が生涯実践された「至誠と愛」は時代が変わっても、また教育、医療、研究など分野が異なっても普遍の精神として生き続けるよう、私自身それを胸に抱きながらこれからの道を歩んでいきたいと思ひます。



ところで、2009年10月に岐阜大学医学部・附属病院女性医師就労支援の会を地域医療医学センター村上啓雄教授、松本茂美先生、奥村陽子先生と共に立ち上げることができました。現在は塚 奈美先生にも加わっていただいています。女性医師には当然のことですが、家庭環境、専門科、ライフスタイルに違いがあります。それぞれの実情に合った就労継続と復職支援を考えていきたいと思っています。従来より女性医師の専門医・認定医取得率の低さ、各学会の役員や大学医学部での教授選任比率の低さが指摘されています。私は、そろそろ女性医師の学究的分野での地位向上、キャリア形成を考える時期にきていると感じています。今後、女性医師の意識・環境の多様性に応じた支援と卒前・卒後の医師としてのプロフェッショナルリズム教育の充実を柱に女性医師支援を考えていきたいと思ひます。

また、私は岐阜大学男女共同参画推進室が2010年にオープンした当初から室員として参加させていただいています。私たち女性自身のたゆまない努力が不可欠ですが、この活動になにとぞ皆様のご理解とご助言を賜りますようお願い申し上げます。



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。

